

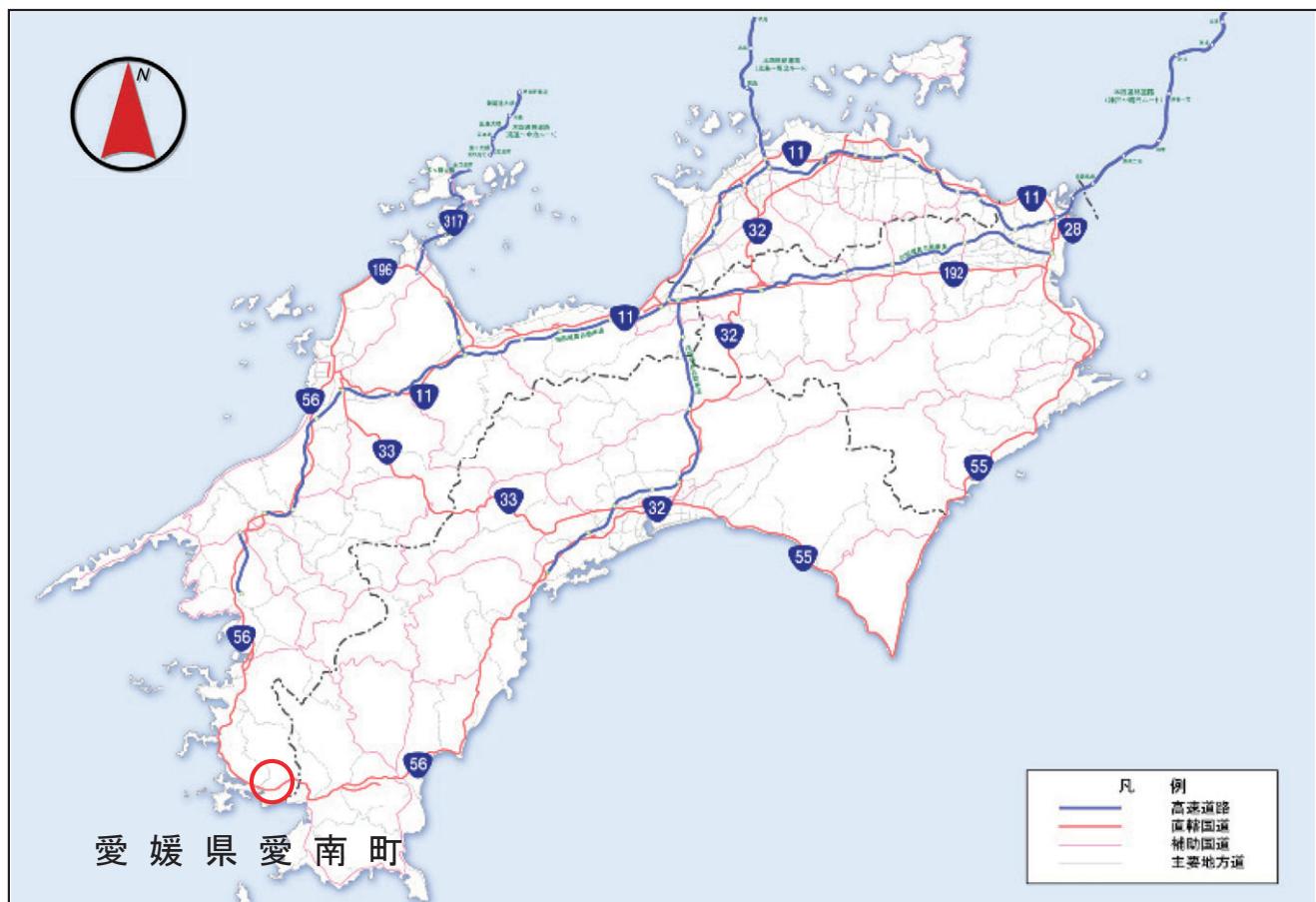
# ふれあい四国路としてNPO法人遍路とおもてなしネットワークと南宇和高校生と一緒に接待木活動を始めました

国土交通省 四国地方整備局 道路部 道路管理課

## 1. はじめに

四国には、88箇所の札所を巡る四国遍路があります。四国遍路は、総延長約1,400kmと言われており、今ではバスや自家用車で巡る方も多いですが、歩き遍路で巡ると、40日もかかる修行の場です。四国に住む私たちは、巡礼される方々を、尊敬を込めて「お遍路さん」と呼称しており、お遍路さんをおもてなしすることを「お接待」と呼んでいます。

愛媛県愛南町は、四国の南西部に位置し、高知県境と接する愛媛県でもっとも南にある町で、町内には第40番札所観自在寺があります。町内を貫く国道56号では、歩き遍路の方々をよく見かけます。

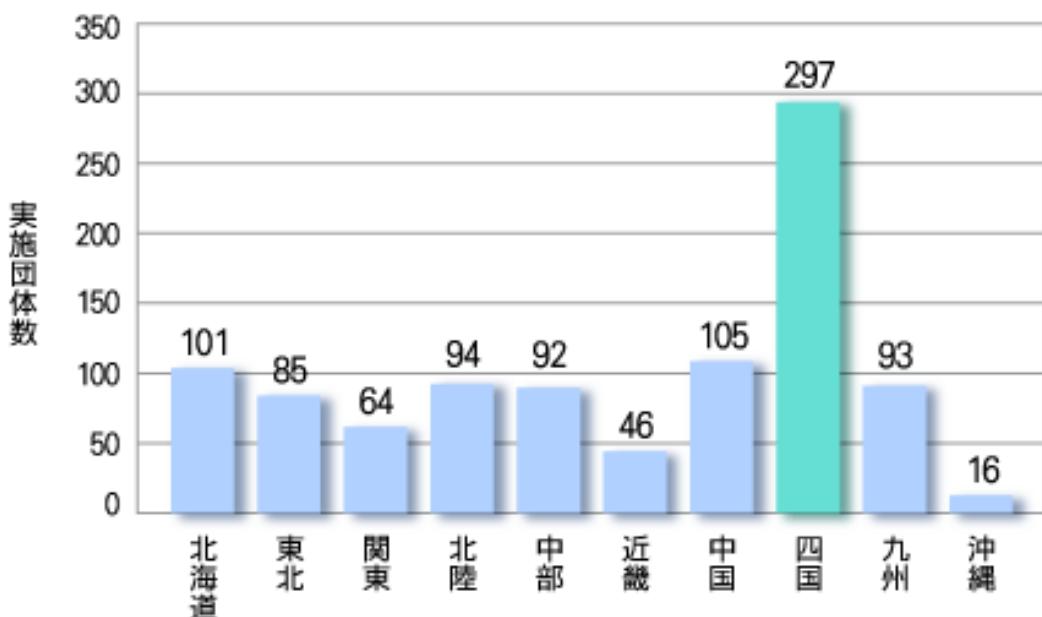


位 置 図

## 2. 「ふれあい四国路」について

四国地方整備局では、四国が一つとなり道路を慈しみ、ボランティア活動がより盛んになり、さらに美しい四国路となることを願い、四国地方整備局管内の道路ボランティア活動の総称を、「ふれあい四国路」と名付けています。実施団体は、道路管理者・協力者と協定を結び、道路の清掃や、植樹の管理などを行っています。

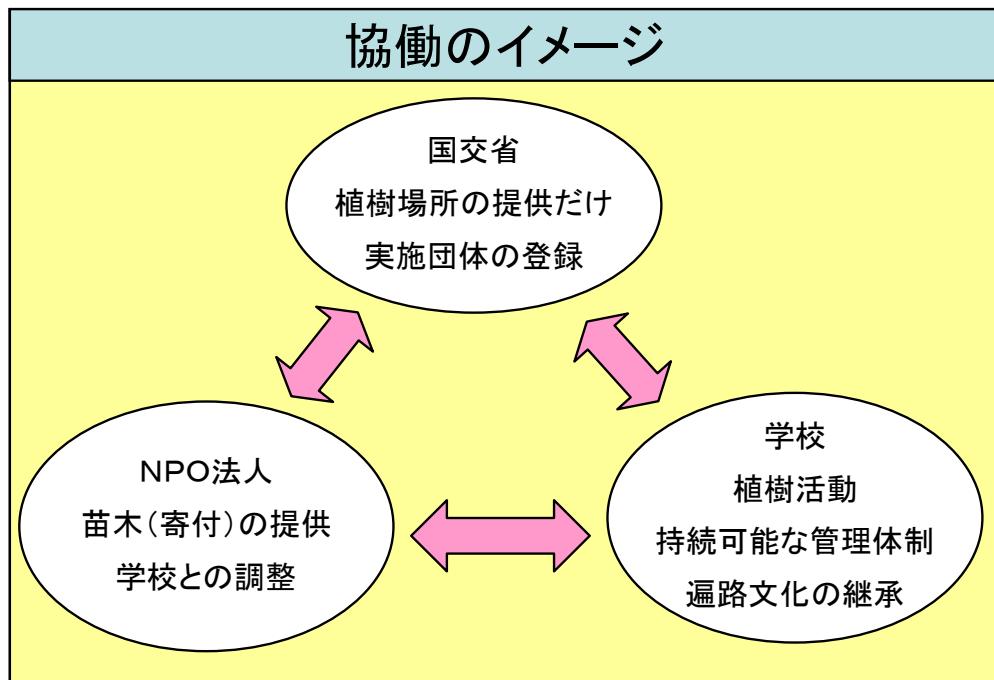
### ◆地方別の実施団体数◆



道路清掃の様子

### 3. 接待木活動について

NPO 法人「遍路とおもてなしネットワーク」（以下「同 NPO 法人」と称します）は、お遍路さんのおもてなしの一環として、接待木活動を行っています。これは、お遍路さんの水分補給や栄養補給のために、遍路道沿いに実のなる樹（ミカン、ヤマモモ、レモンなど）を植樹するものです。同 NPO 法人では、遍路道沿いの駅前や公園などに植樹場所を提供してもらい、実のなる樹を民間企業等から寄付していただき、植樹後も、市民や学生などに植樹・管理していただく調整を図っています。



三者協働のイメージ



接待木のイメージ (徳島県)

四国地方整備局では、この接待木活動をふれあい四国路の一環として捉え、同 NPO 法人と愛媛県立南宇和高校農業クラブのみなさまと一緒に、四国の国道では初めて、愛媛県愛南町の国道 56 号で、接待木活動を実施しました。平成 24 年 10 月 30 日、国道 56 号沿い植樹帯で行われた植樹式には、愛南町の石川副町長、南宇和高校の阿部校長、同校農業クラブの吉良さん、四国地方整備局大洲河川国道事務所の泉川副所長による植樹式の後、同校農業クラブによる、接待木（河内晩柑<sup>\*</sup>、甘夏）の植樹が執り行われました。同校農業クラブ副会長の吉良薰さんは「お遍路さんの乾いた口やのどを潤すとともに、やすらぎの場になるように。1 日も早く、お遍路さんに食べてもらえるように育てたい。」と語ってくれました。今後は、通学路にもなっているので、同校生徒のみなさまに、大事に管理していただけるとのことです。

\*河内晩柑とは、柑橘類の一種で愛南町の特産品で、日本一の生産量です。



挨拶する大洲河川国道事務所副所長



接待木植樹式の様子



農業クラブ生徒による植樹



植樹式が終わって全員で記念撮影

## 4. 活動報告と高校生の交流

香川県高松市にある高松一高でも、接待木活動が行われています。ただ、普通科の高校生には、樹木の育成方法や、病気予防などの知識がありませんでした。南宇和高校農業クラブの接待木活動を契機に、高松一高から南宇和高校へ、樹木育成に関する質問が寄せられ、両校の交流が始まりました。

また、平成 24 年 11 月 12 日、両校の代表者と、NPO 法人のみなさまから、四国地方整備局へ接待木活

動の報告会が行われました。報告会では、高松一高2年生の岡田侑季さんが「この活動を、四国中の高校に広めていきたい。」との意気込みを語りました。



整備局への接待木活動報告会

## 5. さいごに

これからも、同NPO法人による接待木活動に、国道を活用していただくことで、地域のみなさまによる遍路文化の継承と、道路を愛する気持ちが育まれることが期待されます。